

丸天産業、大学担当者向けワークショップ「アカデミックコネクトSTEP1」を開催 ～ 大学の魅力を掛け合わせ、未来につながる交流を促進 ～

株式会社丸天産業（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：天野敬之）は、2025年9月25日に名古屋本社で、複数大学の総務などの担当者様を対象としたワークショップ「アカデミックコネクトSTEP1」を開催しました。本ワークショップは、大学間および学内外の多様な人材や知見を“繋ぎ”アイデア同士の“化学反応”を促進することで、新たな価値創出を図るプロジェクトです。各大学の特性や学生の魅力を再発見・共有し、未来につながる交流を促すことを目指しています。STEP1では、「自大学への理解度を上げる」ワークショップをおこないました。

ワークショップ内容

当日のスケジュール

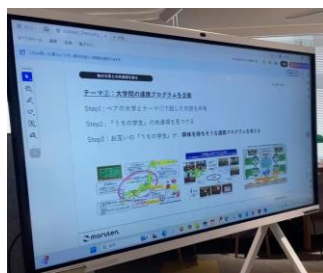
- 13:30～13:40 『Academic Connect』について
- 13:40～14:20 FabCafe Nagoya_矢橋様セミナー
- 14:30～15:20 ワークショップ_テーマ①
- 15:30～16:20 ワークショップ_テーマ②
- 16:20～16:40 発表
- 16:40～16:50 まとめ/連絡事項

■テーマ①では大学の“今”を見つめ、学生の個性を言語化

冒頭では、ロフトワーク顧問であり、株式会社FabCafe Nagoya代表取締役の矢橋友宏氏が登壇。「大学の現状と課題」をテーマに、実際の事例を交えながら、学生の多様性や地域との関わり方について講演しました。その後のワークショップでは、事前課題として参加者が撮影した「大学に関するお気に入りの写真（3枚）」を使いながら、以下の3ステップで自大学の特徴を掘り下げました。①宿題の写真をもとに『お気に入りの○○』を紹介（例：学内の好きな場所・大学周辺のお気に入り・印象的な学校行事）②写真から“うちの学生”の特徴を考察③「学生の良いところ」「さらに伸ばしたいポイント」を整理「写真」という身近な素材を手がかりに語り合うことで、普段なかなか言語化されない“自大学らしさ”が浮かび上がらせる時間となりました。

■テーマ②では大学間の共通点から、次の共創へ

他大学とペアを組み、お互いの学生像を共有し「うちの学生」の共通項を探りながら、双方の学生が興味を持ちそうな“連携プログラム”を企画しました。他大学との比較ではなく、共通点や相互理解に焦点をあてることで、参加者同士の新たな視点や気づきが数多く生まれました。



アカデミックコネクトとは

アカデミックコネクトは、大学間および産学官の“つながり”から新たな価値を生み出す対話型プログラムです。大学が抱える課題や学生支援のテーマを共有し、枠を越えた共創を促進することを目的としています。

丸天産業は「未来を変えよう、人と空間のチカラで」を理念に、人と組織のつながりを創造しています。本ワークショップでは、中立的な場から、大学間の対話や発見を促進。大学の自律的な気づきと交流を支援し、教育現場と地域社会の発展に貢献します。

今後も丸天産業は、大学との連携を深め、未来につながる交流や共同企画を支援。教育現場と企業の協働により、次世代の人材育成に寄与する取り組みを推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社丸天産業 経営企画部
未来企画チーム（広報） 荒川佳子
TEL：052-241-3686
E-mail：arakawa@maruten.co.jp